

# 町政懇談会終了

## 住んでいて良かったと思えるまちへ

**12** 自治会で開催した町政懇談会の意見を反映することを目的に毎年開催しています。

今年7月17日から8月28日までの期間で開催し、158名の方に出席していただきました。

懇談会では、地域の課題や町への要望、大雨被害への対応についてなど、多くのご意見・ご要望をいただきましたが、この誌面では、特に全町に共通するものについてご紹介します。

(Qは問、Aは回答説明です)

**Q** ホップを活性化センターで作っているようだが、どのような考えなのか。

**A** 将来、和寒町の重量作物が厳しい状況になった時に、次の作物として機械化を図ってもできるものとして、大麦も候補になると考えており、これからの選択肢の1つとして始めたものです。

産地によると、ホップは育苗に3年掛かるそうです。寒さに強い作物ではありますが、本町で健全な生育が可能なかを試している段階です。

**Q** 現在芳生苑は介護度が3以上でないと入れないが、和寒の人は和寒の施設に入りたい。今後の考え方を検討してほしい。

**A** 介護の職員が減ってきている中で、人材確保が課題となっています。芳生苑は100床でやっていきますが建替も含め検討を進め、今いただいた意見を踏まえ住民の皆さまに説明していく必要があると考えています。

**Q** 診療所には十分な医療体制を整えた上で移行して、採算性重視ではなくて町民の命を守る目的をもっての診療所としていただきたい。

**A** どの自治体も医療を小さくしたくてしている訳ではありません。医者をごどのように確保できるかが課題となっています。町民の命が第一ですが、そのためには医師を継続して安定的に確保しなければなりません。どのようにやるかが課題となっていて、意見をしっかりと受け止めてみなさまに丁寧に説明していきます。

**Q** 病院の診療所化の話は、もう少し時間かけて1年先としてもよいのでは。町民説明会で少ない人数ながらも意見があったことは真摯に受け止めるべき。

**A** 実際に、このまま病院経営が赤字であっても、町の一般会計から負担すれば数年もつかもありません。ただ、今働いている方の働き方を改善していかなければ次にながっていきません。相当限界が近づいています。1年かけてやるというのは大切な意見ですが、その期間、医者や看護師、薬剤師を1年分確保できるかとなった時に私はできません。水や空気のように医療の提供ができない状況なので、丁寧に説明していくしかないと思っています。